

標 題	島根県学校農業クラブ連盟のプロジェクト発表県大会が開催！ ～農業系高校と普及組織がより連携を～
-----	--

(ダイジェスト)

7月17日(水)に益田市立市民学習センターにおいて標記県大会が開催され、県内の農業系5高校から3分野11グループがエントリーし、日頃の活動内容の発表がありました。総じて地域の身近な課題(農、食、環境等)をテーマにした発表に関心が寄せられ、かつ評価が高かったことから、今後は地元普及部と共にテーマを設定し、進めていくことが互いの活動等に繋がっていくと感じました。

島根県学校農業クラブ連盟では毎年度この時期に、邑南町での「意見発表」と益田市での「プロジェクト発表」の2つの県大会を開催しており、前者については県央農業普及部の本年7月11日付けの普及情報で既に報告されています。

プロジェクト発表は意見発表同様に3つの分野に分かれますが、プロジェクト(研究)活動であることから、授業を踏まえた計画的な内容か、持続的で地域との繋がりに配慮した内容かなどにポイントがおかれています。

【各分野と発表グループ数】

- ◇分野Ⅰ類「生産・流通・経営」：5校5グループ
- ◇分野Ⅱ類「開発・保全・創造」：3校3グループ
- ◇分野Ⅲ類「ヒューマンサービス」：4校4グループ

今年も審査員泣かせの大会でしたが、審査の結果、昨年度同様に3分野ともに出雲農林高校が最優秀賞を獲得し、それぞれが中国大会に出場することになりました。

【最優秀賞】

- ◇分野Ⅰ類：出雲コーチンの復活を目指してⅣ ～明治から平成・令和、そして次の時代へ～
- ◇分野Ⅱ類：油桐による故郷の山の保護 ～美しい緑の山を復活させる～
- ◇分野Ⅲ類：ヤギのしつけと人への順応 PartⅤ ～動物と人の共生・全国発信～



審査で上位に入ったものの多くは、地域の農や食や環境などと関わりが深く、地域に求められているテーマであり、それが故に生徒たちが意欲的に研究することで成果が表れ、よって自信を持って発表できるという筋書きがあるように思います。

こうした生徒たちの中から、一人でも多くの就農者が誕生してくれるためにも、日頃から農業系高校との連携は必要不可欠ですが、特にこのプロジェクト活動と連携することは地域農業の課題解決にも繋がる大切なことだと感じました。

そこで、審査講評では「今後は我々普及組織と連携し、一緒にテーマを設定していきましょう」と提案しました。各普及組織は今まで以上に地元農業系高校と連携し、地域農業等の課題を共有し合いながら、その解決に向けて一緒に取り組んでいきましょう。